

プルーム起源の背弧海盆

Back-arc basins of plume origin

瀬野 徹三 [1]

Tetsuzo Seno [1]

[1] 東大・地震研

[1] ERI, Univ of Tokyo

背弧の広域応力場は、沈み込むスラブの応力がほとんど決めている。スラブがdown-dip tensionで ありながら背弧が伸張あるいは開いているまれなケースがある。マリアナ、九州-北部琉球、エーゲ海である。これらの内後者には背弧に水平応力の勾配が見られ、上盤側プレート下に粘性ドラッグ が期待される。このドラッグは深部マントルからの上昇流（プルーム）によってもたらされた可能性を示す。

背弧の広域応力場は、沈み込むスラブの応力がほとんど決めている。スラブがdown-dip tensionで ありながら背弧が伸張あるいは開いているまれなケースがある。マリアナ、九州-北部琉球、エーゲ海である。これらの内後者には背弧に水平応力の勾配が見られ、上盤側プレート下に粘性ドラッグ が期待される。このドラッグは深部マントルからの上昇流（プルーム）によってもたらされた可能性を示す。